

【授業科目】 情報科学概論

Introduction to Information Science

担当教員	開講年次	選択必修	単位数	時間数	授業形態	実務経験	オフィスアワー	教職員への授業公開
片山 清和	1年次前期	必修	2	30	講義	あり		可
授業概要 (内容と進め方) 及び課題に対するフィードバック方法	<p>授業概要/日々情報化する社会の中で生活・学習・仕事でコンピュータ・ネットワークを積極的に活用するための、デジタル情報の基本的な性質を知り、正しく活用するための基礎的知識を学ぶ。スマホ・タブレット・タブレットを含めたハードウェア・ソフトウェアの基本から、著作権や情報セキュリティなど情報社会に係わる話題を、具体的かつ幅広く取り上げる。デジタル技術により変化していく情報社会の在り方を皆さんと一緒に考えたい。特に医療情報システムにおける発展について重点的に考える。</p> <p>課題に対するフィードバック方法/提出されたレポートにコメントをつけて返却する</p>							
実務経験に関する授業内容	<p>情報系の国家資格である基本情報技術者を持ち、糖尿病やがんのセルフマネジメントアプリ開発経験も有する教員が、看護師として必要な情報科学の知識を、実機や実例を示しながら教授していく科目である。</p>							
授業の位置づけ	<p>本学のディプロマ・ポリシー⑤「将来に向け看護を主体的に学び、人間として自己の成長に努め、専門職としてのキャリアの基礎を形成することができる」の達成に寄与している。</p>							
到達目標 (履修者が到達すべき目標)	<p>①情報化社会を支えるネットワークとパソコン・タブレット・スマホ・携帯・テレビなどの機器とサービス、そしてこれらを支えるシステムの仕組みを理解し他人に説明できる。</p> <p>②セキュリティ確保や個人情報保護・著作権の基本的な考え方を学び、看護専門職として適切に対処できる基礎能力を身につける。</p> <p>③デジタル情報を医療現場で積極的に活用でき、説明できるだけでなく積極的に導入を提案できる能力を身につける。</p>							
時間外学習に必要な内容・時間	<p>事前学習：指定のテキストを事前に読んで理解しておいてください。(30分)</p> <p>事後学習：講義中に学んだ内容を復習したり、課題を行ったり、興味がわいた事柄について図書館やインターネットで調べてください。(60分)</p> <p>※上記時間については、指定された学習課題に要する標準的な時間を記載してあります。日々の自学自習全体としては、各授業に応じた時間(2単位15回科目の場合：予習+復習4時間/1回)(1単位15回科目の場合：予習+復習1時間/1回)(1単位8回科目の場合：予習+復習4時間/1回)を取るよう努めてください。詳しくは教員の指導に従ってください。</p>							
授業計画	<p>第1回 ガイダンス、デジタル情報とは何かについて学びます。</p> <p>第2回 インターネットの仕組みについて学びます。</p> <p>第3回 コンピュータの仕組みについて学びます。</p> <p>第4回 基本ソフトウェア・応用ソフトウェアについて学びます。</p> <p>第5回 情報圧縮と暗号化の仕組み・方式と暗号化の応用について学びます。</p> <p>第6回 データの保護について学びます。</p> <p>第7回 小テストを行います。</p> <p>第8回 個人情報保護について学びます。</p> <p>第9回 特許権について学びます。</p> <p>第10回 著作権について学びます。</p> <p>第11回 小テストを行います。</p> <p>第12回 医療情報システムについて学びます。</p> <p>第13回 最新技術と医療への応用について学びます。</p> <p>第14回 小テストを行います。</p> <p>第15回 まとめを行います。</p>						<p>全て 片山</p>	
評価方法 評価基準	<p>レポート(40%)、期末試験(60%)により評価する。</p>							
教科書	<p>「エッセンシャル看護情報学 2025年版」 太田勝正、前田樹海 著、医歯薬出版</p>			参考書等	<p>参考書は講義の中で紹介する</p>			
学生への助言等	<p>欠席、遅刻しないようにしてください。やむなく欠席する場合は、必ず事前に講師の指定メールアドレス宛にその旨連絡してください。無断欠席に対しては厳しく対応します。</p>							